

高度化ポートフォリオ 令和6年度の運用実績

〔実績ハイライト〕

高度化ポートフォリオ

収益率 1.66% 収益額 4.83億円 資産時価額 542億円

資産クラス別概要

円ベース債券

✓国内債券は、米国を中心に金利が高止まりしていることや、為替ヘッジコストが依然として高水準で推移していることなどにより、ベンチマークリターンが▲4.7%となる厳しい環境が続きました。そのような中、本学ではアンコンストレインド・ファンドへの切り替えをすすめるなどして小幅なプラスとしました。なお、国内債券の厳しい環境を踏まえて、本学では基本ポートフォリオに対してアンダーウェイトを維持しています。

【用語】

アンコンストレインド…幅広い債券（内外国債、政府機関債、投資適格社債、モーゲージ証券、ハイイールド債、バンクローン、エマーGING債等）を対象に、資産配分やデュレーションを機動的にコントロールし様々な環境下でリターンを追求します。

高度化ポートフォリオ 資産クラス別の実績

グローバル株式

✓株式市場では、国内株式のインデックスリターンは▲1.5%、グローバル株式のインデックスリターンが6.3%となる中、通期では0.4%のプラスを維持しました。

オルタナティブ

✓プライベート・デットやプライベート・エクイティが堅調で、それぞれ6.1%と4.0%となりました。

✓不動産は、国内の私募REIT、J-REITの上場ETF、国内不動産融資に投資しています。J-REITが約5%の分配利回りを提供したものの、インデックスリターンが年間▲1%となり、不動産全体では1.4%の着地となりました。

【用語】

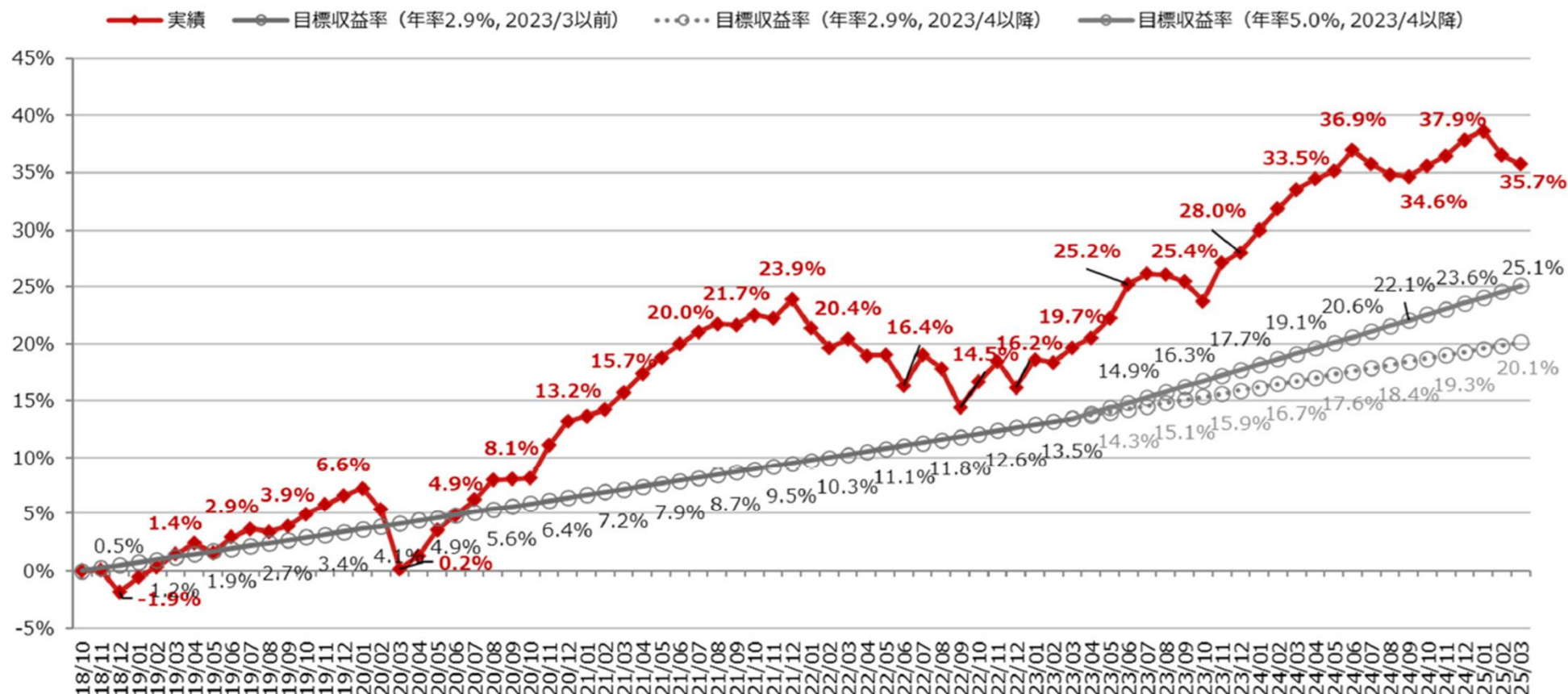
プライベート・デット…ファンドが企業等へ資金を貸し出すことによって金利を得ます。

プライベート・エクイティ…未上場の株式に投資します。投資先の企業のステージによってベンチャーキャピタル、セカンダリー、バイアウト等の戦略があります。

高度化ポートフォリオ 投資開始来累積収益率

投資開始来 累積リターンの推移

✓投資開始来の年率収益率は+4.9%



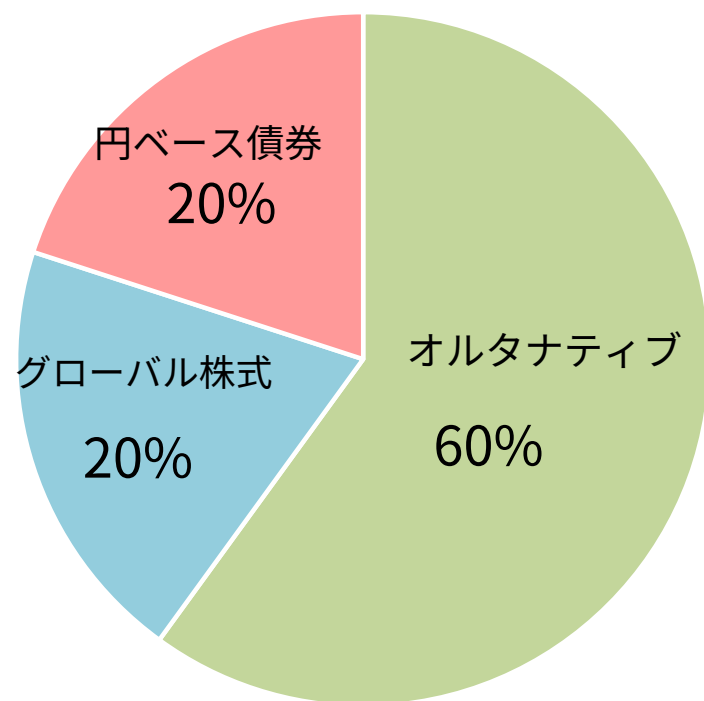
出所：運用機関データよりNFRC作成

・グレーの線は本学ポートフォリオの期待リターンを示しています。実績が期待リターンを上回って順調に推移しています。

高度化ポートフォリオの状況

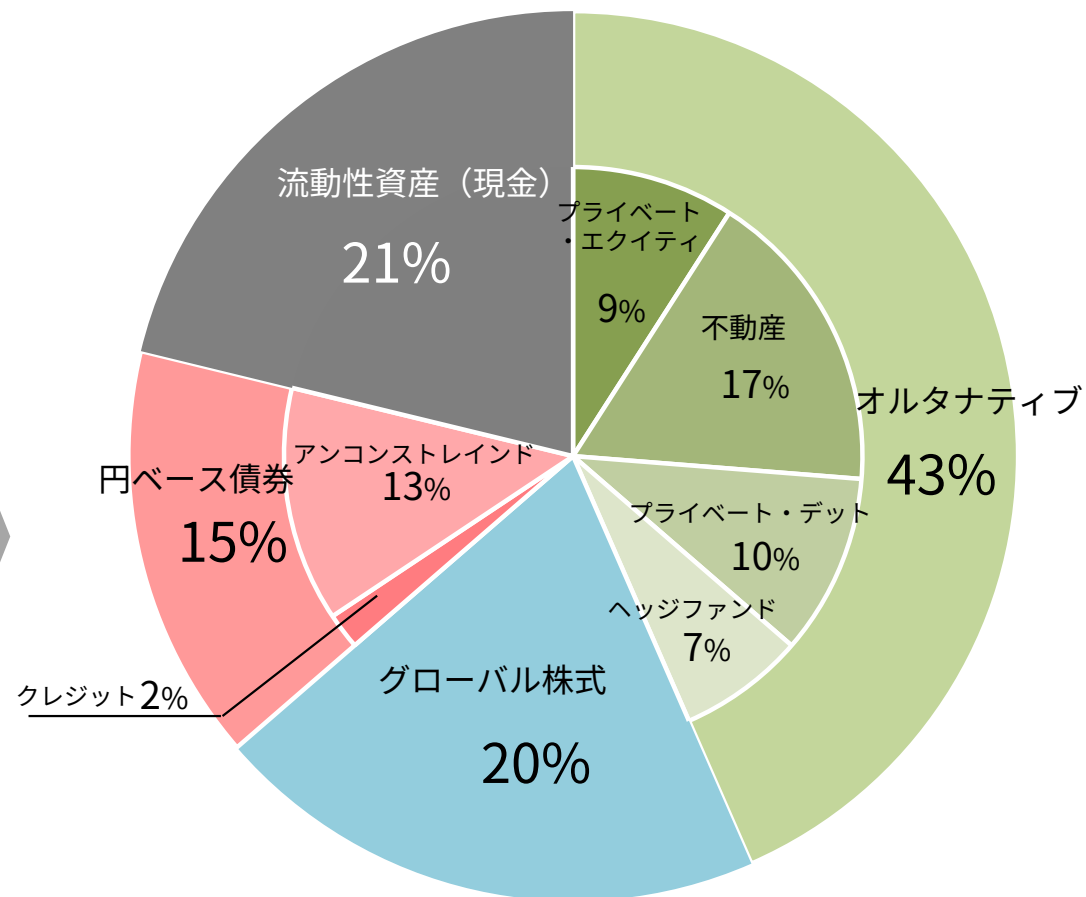
高度化ポートフォリオの組み入れ状況

基本ポートフォリオ



【2023年1月決定】

実践ポートフォリオ



【2025年3月末現在】